

キクイモ

布宮慈子<sup>やすこ</sup>

秋の日をたつぷり浴びて野辺に咲くキクイモの花の集団揺れて

正面に見ゆる月山キクイモの花の黄色は青空に映ゆ

キクイモはマーガレットの形して黄色に咲ける道端の花

キクイモの花を知らずに過ごしたる武蔵野台地をいまは思ふも

キクイモの歌うたひたる叔母なりき徳丸ヶ原に分け入るみつこ

キクイモは菊芋なれど北米ゆ渡来したる帰化植物なり

キクイモの根は食用になるといふ効用を説くみつこの声す

いつも吾<sup>あ</sup>に時間はなくて曖昧に聞きてをりたりああ上滑り

黄の花はわれの眼<sup>まなこ</sup>に語り掛く時間はゆつたり流れてゐるか

青菜<sup>せいさい</sup>と大根人参キクイモの根を刻みたるおみ漬<sup>\*</sup>はあり

\*山形の冬の漬物